

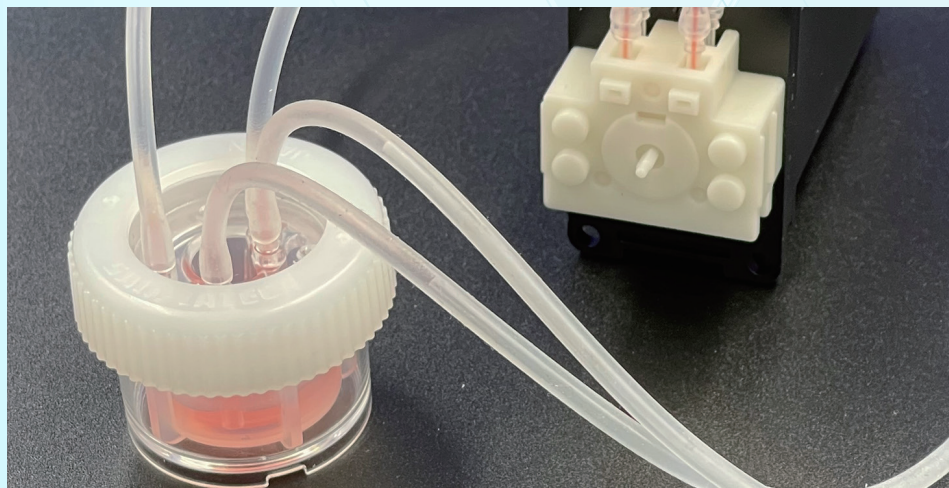
細胞培養用容器&デバイス



再生医療に求められる細胞培養の理想形を追い求め、
閉鎖系培養・灌流培養を取り入れた研究開発を推進、その実現を目指しています

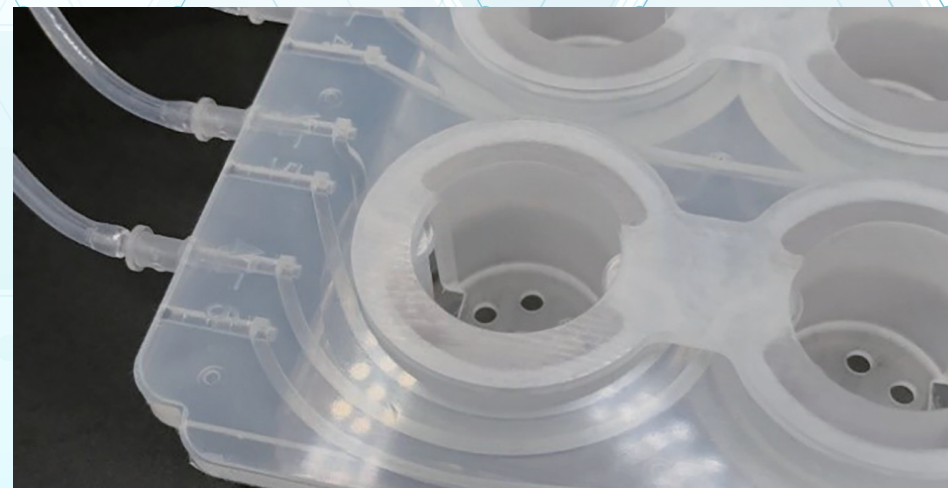
閉鎖系培養

完全密閉型の容器を開閉することなく、容器と一連となったチューブなどを通じて培養液の交換が自動でできるモジュールでの培養です。コンタミリスクを軽減でき、簡易な培養設備環境でも運用できる点で注目されています。



灌流培養

ポンプを用いて容器内にフレッシュな培養液を流し続け古い培地を排出する自動細胞培養法です。常に一定の培養環境（栄養成分濃度や老廃物濃度など）を維持でき、作業者による手技の差異をなくし、労力やコストの削減が可能です。



閉鎖系培養 / 灌流培養用ポンプシステム

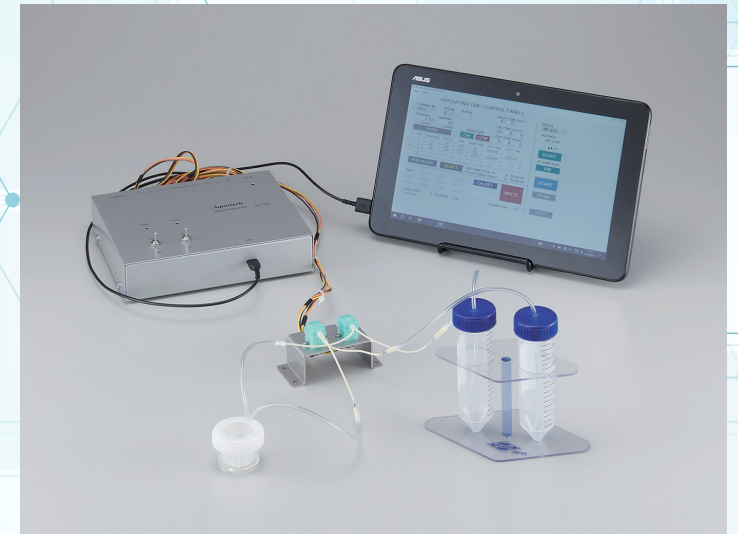
閉鎖系の自動培養条件の検討から、実験システムの構築まで、
様々な研究ニーズに対応してご提案します



ポケットポンプキット



マイクロチューブポンプシステム



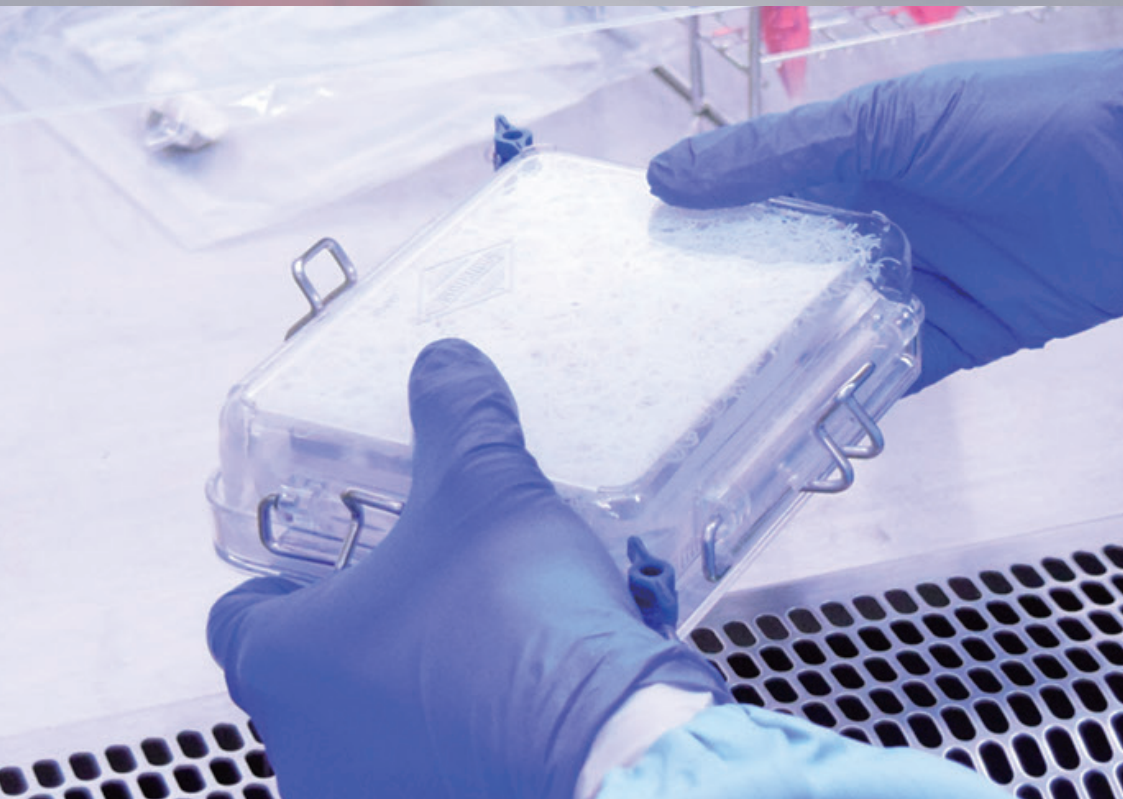
トライアルポンプキット



ライブ輸送デバイス

細胞を直接収納する一次容器、
一時容器の保定と液封をする二次容器、
断熱と振動吸収をする三次容器、

細胞を必要な温度に保つ潜熱蓄熱冷材といった
各種デバイスの提案や開発をおこなっています



ライブ輸送を可能にする基本的な資材構成例

